

ネイティブ思考法を用いた読み方で素早く英文を読み取れる生徒の育成
～補助的に音声を活用した読解指導の工夫を通して～

1. 主題設定の理由

ICTの急速な発展により、私たちの情報手段も多様化している。インターネットニュースやSNS、ブログなどのツールが世界中のどこにいても瞬時に情報を得ることを可能にしている。平成28年度青少年のインターネット利用環境実態調査では、青少年の約80.2%がインターネットを利用していることがわかった。その利用内容は、コミュニケーションが中学生67.2%、高校生90.6%、保護者94.2%、情報検索では中学生61.4%、高校生74.1%、保護者85.7%となっている。年齢が上がるにつれて、文字を介してのコミュニケーションや情報を得る手段がますます増えていくことがわかる。そのため中学生に文字を介してコミュニケーションを図る力や文字情報を適切に得る力の必要性はますます高まっているといえる。

これまで君津支部では、生徒の読解力向上を目指して研究にとりくんできた。今年度はこれまでとりくんできたMini Reading トレーニング教材を、日本人英語学習者（中学生）が目標とするWPM100で音声化し、補助的にその音声を活用することにした。生徒が英文を読解する前に音声聞かせ、その通りに英文を読むことで英文を読むスピードを意識させるのみにとどまらず、「生徒に求めたい読み方」を体感的に身に付けさせることができると考えた。なお「生徒に求めたい読み方」とは「ネイティブ思考英語勉強法」の著者ダン上野Jr氏が提唱するネイティブ思考法に即した読み方とした。この指導法を継続していくことで、ネイティブ思考の英文の読み方が身につく、素早く英文の内容を読みとれる生徒が育成できると考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

読解の補助として、音声を活用しながら英文を読むトレーニングを定期的に繰り返し実施すれば、生徒はネイティブ思考の英文の読み方が身につくとともに、素早く内容を読みとれるようになるだろう。

3. 研究内容

音声を補助としたMini Reading トレーニング

(読解力および読解スキル調査、読むことに対する意識調査)

4. 結論

- ・音声を補助として読解トレーニングをすることで、ネイティブ思考の英文の読み方が身につく、素早く英文の内容を読みとることができるようになった。
- ・日頃から語彙指導を行っていくことが生徒の読解力向上にはかかせない。

君津支部

君津市立周西中学校

吉田 篤史

1. 主題設定の理由

ICTの急速な発展により、私たちの情報手段も多様化している。かつては紙媒体の新聞から世界の情勢を得ていたため、情報が公になるまで時間がかかっていたのが、現在ではインターネットニュースやSNS、ブログなどのツールが世界中のどこにいても瞬時に情報を得ることを可能にしている。各国の首脳や政治家たちが発信したフェイスブックやブログの投稿が、翌朝刊一面で取り上げられることも少なくない。2017年2月に内閣府が報告した2016年度青少年のインターネット利用環境実態調査（青少年約3284人が対象）では、青少年の約80.2%がインターネットを利用していることがわかった。さらにインターネットの利用内容を見ると、コミュニケーションとしての利用が中学生67.2%、高校生90.6%、保護者94.2%となっている。また情報検索では中学生61.4%、高校生74.1%、保護者85.7%となっており、年齢が上がるにつれて、文字を介してのコミュニケーションや情報を得る手段がますます増えていくことがわかる。このことから、中学生に文字を介してコミュニケーションを図る力や文字情報を適切に得る力の必要性はますます高まっているといえる。また千葉県公立高校入試の前期選抜検査問題を見ても、問7から問9は読解問題であり、その配点は100点満点中44点と非常に大きな割合を占めている。まとまった分量の英文（文字情報）を限られた時間の中で効率よく理解することが求められているのである。

このような現状を踏まえ、君津支部の中学3年生約270名を対象に、普段の英語学習に関する意識調査を行った。「あなたは1週間にどれくらい教科書以外の英語の長文を読みますか」の問いに対して、「週に1回以下」と答えた生徒が全体の69%に達した。また「あなたはテスト（定期テストや復習確認テスト）や英検の長文問題で最後まで読み切れなかったことはどのくらいありますか」の問いに対して、「解くことができなかった」と回答した生徒は80%を超えた。これらの結果は、生徒たちに日頃英文を読む習慣がないことはもとより、求められている読解スピードが身につけていないことを意味している。

生徒の読む力が十分に高まっていないという現状を踏まえ、これまで君津支部では、生徒の読解力向上を目指して研究にとりくんできた。一昨年度および昨年度は「生徒に求めたい読み方」を指導することで、英文の概要を素早く読みとることを目指し、研究を進め一定の成果を出すことができた。特に昨年度はその実践の中で読解トレーニングを行ったあとに、WPM60、100、120のスピードで読まれた英文を生徒に聞かせ、自身の読むスピードを認識させた。生徒に音声を聞かせてスピードを体感させたことは、生徒にとっては初めての試みであり、自分が目標とする読むスピードを意識させる上でも大きな意味があるとりくみであった。

今年度は、これまでとりくんできたMini Reading トレーニング教材を日本人英語学習者（中学生）が目標とするWPM100で音声化し、補助的にその音声を活用することにした。生徒が英文を読解する前に音声を聞かせ、その通りに英文を読むことで、英文を読むスピードを意識させるのみにとどまらず、「生徒に求めたい読み方」を体感的に身に付けさせることができると考えた。なお「生徒に求めたい読み方」とは「ネイティブ思考英語勉強法」の著者ダン上野Jr.氏が提唱するネイティブ思考法に即した読み方「返り読みをしない」「意味のまとまりごとに理解する」「英語の語順で読む」とした。この指導法を継続していくことで、ネイティブ思考の英文の読み方が身につく、素早く英文の内容を読みとれる生徒が育成できると考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

読解の補助として、音声を活用しながら英文を読むトレーニングを定期的に繰り返し実施すれば、生徒はネイティブ思考の英文の読み方が身につくとともに、素早く内容を読みとれるようになるだろう。

3. 研究内容

(1) 昨年度までの成果と課題

これまで君津支部では、生徒の読解力向上を目指した研究にとりくんできた。一昨年度は、読解トレーニング教材を独自開発し、段階的に読解力を育成するとりくみを行った。その研究では、教員が提示した「生徒に求めたい読み方」に沿った読解トレーニングを行うことで、生徒が必要な情報を得るという点において、一定の成果を示すことができた。昨年度は、その読解トレーニング教材を改変し、読解トレーニング教材を音声化したものを、生徒が各自で黙読した後に、WPM 60, 100, 120の3段階の速さで聞かせることにより、自分の読むスピードと好ましいスピードがどの程度であるかを意識させた。この研究では、正確性をそこなわずに英文を早く読む読み方が身についたという点において、一定の成果が見られた。

(2) 今年度の研究概要

実施期間 2017年6月～7月 対象生徒 君津支部中学校5校 3年生約270人

音声を補助とした Mini Reading トレーニングとは

【1】教材作成

- ・読みやすい英文の選定（これまでの研究で使用した題材 12回分）
- ・英文を3つの「生徒に求めたい読み方」に分け、段階的に配列（3種類×4回シリーズ）
- ・ALTによる英文の音声化（スピードはWPM100に設定）

英語学習に関する意識調査（事前）

【2】読み方の指導 ステップ1（1回目：音声と同じスピードで読み、概要をつかむ。）

- ・音声と同じスピードで読み、目標とする読解速度を体感する。

【3】読み方の指導 ステップ2（2回目：内容をつかむ）

- ・もう一度英文を黙読し、細かい内容をつかみ、設問により理解度を確認する。
- 【手法1：ワンウェイリーディング】途中で止まらない。返り読みをしない。（×4回）
- 【手法2：チャンクリーディング】意味のまとまりを意識する。単語を1つ1つ訳さない。（×4回）
- 【手法3：キーワードリーディング】キーワードを意識する。（×4回）

【4】フィードバック

- ・生徒はタイマーを見て、2回目のリーディングにかかった時間を記録する。答え合わせをする。

英語学習に関する意識調査（事後）

（目標）ネイティブ思考の読み方を身につけ、英文を素早く読みとれる生徒の育成

(3) 教材作成について

昨年度までの研究で使用した英文の中から12個のストーリーを選定し、それらを3つの手法に分けて4回シリーズで指導した。手法1では、内容や英文構造がつかみやすい英文を選んだ。手法2では、語句のまとまりを比較的つかみやすい英文を選んだ。手法3では、キーワードとなる語が比較的つかみやすい英文を選んだ。語彙に関しては、「95%以上の単語を理解できればスムーズに読み進めることができ、流暢に読む活動ならば98%以上の語がわかる英文を用いること」とあることから(卯城, 2009), 昨年度と同様にできる限り既習語を使用し、未習語については注釈を入れることとした。またこのトレーニング前には、「英文はできる限り既習語を使用していること」「未習語については注釈が入っていること」を伝えることで、生徒の長文に対しての心理的負担を軽減した。

読み方指導 ステップ2 で指導した 手法	生徒に求めたい 意識させたい読み方		内容
手法1 ワンウェイ リーディング	途中で止まることなく読む 振り返りをしない	1・①	タイの旧正月の時期と過ごし方について
		1・②	メキシコにおける健康問題とメキシコ政府の政策
		1・③	日本の風呂敷とその利便性について
		1・④	英語を上達させるためにすべきこと
手法2 チャンク リーディング	意味のまとまりを意識して読む 単語一つ一つ訳さない	2・①	電車でのマナーと車内で起こった出来事から考えたこと
		2・②	トモコが電車で時計をなくしたことと、その後の行動について
		2・③	日本のダンチョウが減少している原因について
		2・④	自分たちの町の図書館についての紹介と説明
手法3 キーワード リーディング	キーワードを意識して読む	3・①	宇宙博物館、ライト兄弟、人類が宇宙に行くまでの話
		3・②	職場体験での仕事内容、出来事とその感想について
		3・③	ウミガメが減少している人的要因と簡単にできる対策について
		3・④	テッドが転校するときに、友人からどんな言葉で励まされたかについて

(4) 読み方指導の実際

毎回の指導の流れ

毎回指導については、通常の授業進度に支障をきたさないようにするために、5分以内に終わるように配慮した。「生徒に求めたい読み方」の逆（返り読み、止まる、日本語の語順で読む）をさせないために、あえて時間に制限を設けた。

指導は 5分 で 帯 ど り	流れ	指導内容
	配布（30秒）	ワークシートを配付して記名させる。
	読み方指導ステップ1 CDを聞く ストーリーの概要を書く （1分30秒）	CDを流し、読まれる英文のスピードで英文を黙読させる。 30秒でストーリーの概要を書かせる。
	読み方指導ステップ2 「生徒に求めたい読み方」を意識し、設問に答える。 （2分）	【手法1】ワンウェイリーディング ※途中で止まったり、返り読みをしたりしない。 【手法2】チャンクリーディング ※単語1つ1つを訳さず、意味のまとまりを意識して読む。 【手法3】キーワードリーディング ※キーワード（5W1Hや固有名詞、数字）を意識する。 ストーリーに関する設問に答える。
	フィードバック 解答合わせ・回収 （1分）	読み終わったら、要した時間を記録する。 答え合わせをし、回収する

読み方指導 ステップ1

英文が録音されているCDを流し、生徒には読まれる英文と同じ速度で黙読するように指示した。なお、英文が読まれる速度はWPM100とした。この値は日本人英語学習者（中学生）の目標値である。

参考

日本人英語学習者が目標とするWPM （卯城，2009） ・中学生100WPM ・高校生150WPM ・大学生200WPM
英語母語話者の平均WPM （Nuttall，1996） ・300WPM

ここでは、生徒全員に目標値であるWPM100をトレーニング12回を通じて体感させ、ステップ2での理想の読むスピードを示すことを目指した。

読み方指導 ステップ2

この段階では3つの「生徒に求めたい読み方」英文の読み方を提示した。

【ワンウェイリーディング】

英文を読むのに時間がかかってしまうのには、わからない語や文があった時に、立ち止まってしまったり、何度も読み返したりしてしまうことが挙げられる。英文を速く読むためには、細かい点にこだわらず、英文を英語の語順のまま左から右に読んでいく習慣（ネイティブ思考法）をつける必要がある。

なお指導する際には、わからない単語や文があっても「止まらずに前から順に読むこと」「読み返しをしないように読むこと」の2点を意識して読むように指導した。

【チャンクリーディング】

我々は母語である日本語を聞いたり読んだりするときは、ある程度まとまった文節に自然と区切って情報を処理しており、1つ1つの情報ごとに処理はしていない。英文を速く読んでいくためには、日本語では自然と行っているように情報の処理をする必要がある。つまり単語1つ1つを訳しながら読んでいくのではなく、意味のかたまり（チャンク）ごとに読む意識をつけさせたいと考えこの手法を設定した。さらに語句のまとまりごとにスラッシュを入れさせることで、自分の読み方を視覚化させた。

【キーワードリーディング】

英文の中の全ての単語がわからなくても大体の概略はつかむことができる。英文の中には“the”や“of”などといった機能語がたくさん含まれているが、大切なのは5W1Hの情報や固有名詞、数値を読みとっていくことである。それらをキーワードとして拾っていくことで、英文の概要がつかみやすくなることを指導の中心にした。また手法②と同じように、キーワードとなる語にアンダーラインを入れさせることで、キーワードを視覚化させた。

フィードバック

読み方指導ステップ2で各自が設問を解き終えた時点の時間を記録させた。記録させることで、各自の読むスピードがどれだけ理想に近づいたかを認識させたいという狙いがある。

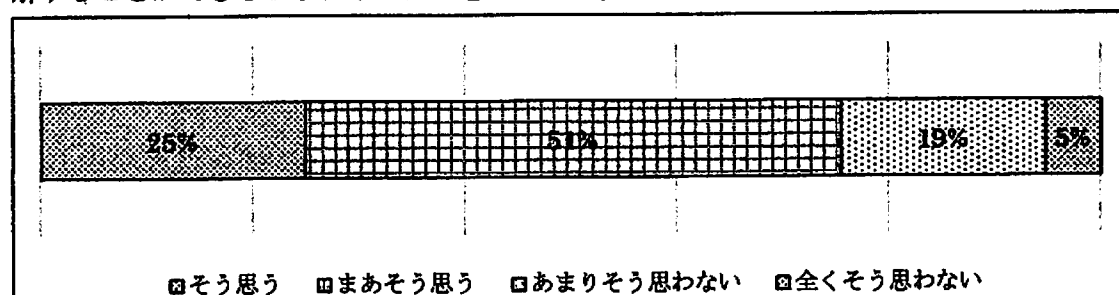
4. 成果と課題

(1) 成果

①読み方指導ステップ1について

【英語学習の意識調査より】

グラフ1 今回のトレーニングを受けてみて、以前より英語の長文を速く読み、内容を理解することができるようになったと感じますか。



【生徒の感想より】

- ・長文を読むときのスピードがあがった。
- ・前よりも英文を読むスピードがあがったように思えて、すらすら読めるようになったと思う。
- ・適切なスピードでも長文が理解できるようになった。(前はゆっくりでないとできなかった。)
- ・長文を読むのが慣れてきて、速く読み終われるようになった。
- ・外国人の音声で聞くによって、速さを知れた。

【考察】

君津支部中学校5校、3年生270人に本実践の後に、「以前よりも英語の長文を速く読み、内容を理解することができるようになったか」という質問をしたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせて76%の生徒が長文を速く読むことができるようになったと回答した。このことから、英文を読むうえで目標とする速度を12回のトレーニングで体感、意識させたことが、生徒の英語の長文を読む速度を変化させたと考察できる。

②読み方指導ステップ2について

【英語の読解テスト（事前・事後）と毎回のトレーニングの結果より】

	手法1(ワンウェイ)				手法2(ツイン)				手法3(スキャン)			
	1回目	2回目	3回目	4回目	1回目	2回目	3回目	4回目	1回目	2回目	3回目	4回目
支部全体	4.19	4.20	4.45	4.22	4.56	4.52	4.19	4.71	4.38	4.59	4.61	4.58
A校	4.06	4.16	4.45	4.26	4.63	4.54	4.25	4.69	4.45	4.72	4.58	4.61
B校	3.98	4.06	4.32	4.15	4.61	4.40	4.07	4.60	4.26	4.39	4.45	4.24
C校	4.12	4.27	4.81	4.50	5.00	4.56	4.69	5.00	4.81	4.88	4.81	4.88
D校	4.36	4.30	4.43	4.24	4.30	4.55	4.24	4.80	4.52	4.71	4.70	4.74
E校	4.57	4.40	4.67	4.13	4.50	4.67	4.07	4.73	4.20	4.63	4.72	4.76
手法ごとの平均	4.31				4.54				4.60			

上のデータはトレーニング最初の手法1の1回目から、トレーニング最後の手法3の4回目までの全12回のトレーニングにおける平均点（5点満点）を示したものである。手法1の1回目と手法3の4回目の数値を見ると、最初と最後で数値がどの学校においても上昇していることがわかる。手法ごとの平均値を見ても数値が徐々に上昇しており、この結果より12回のトレーニングを通して生徒の英文を読解する力が増したと考えた。

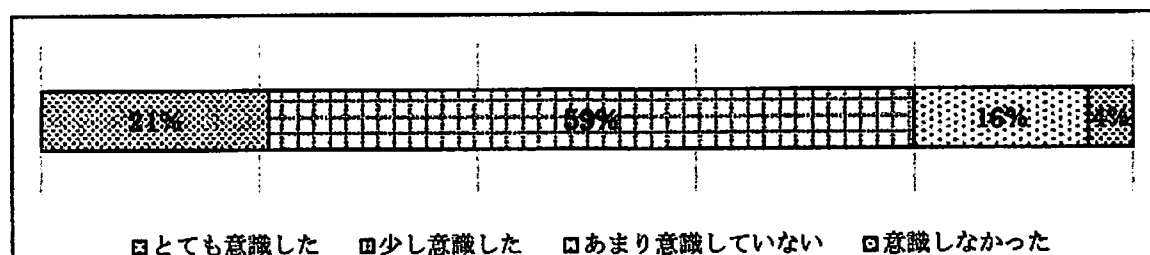
さらに手法1の読み方の平均値から、手法2の読み方の平均値を見ると約0.2ポイント上昇しているがわかる。この点より意味のかたまりを意識しながら英文を読んでいくことが、英文の内容を理解する上で大切な要素であると考えた。

【読解スキル調査結果（事前・事後）より】

	非効率的な読み方				生徒に求めたい読み方					
	A 単語1つ1つを日本語に訳しながら読んだ。	B 意味のわからない文は、わかるまで何度も読み直した。	C わからない単語があったら、そこで止まって考えた。	D 文1つ1つを日本語に訳しながら読んだ。	a 単語ではなく、意味のまとまりごとに区切りながら読んだ。	b わからない語や文があっても、全体の内容を理解しようとしながら読んだ。	c 意味のわからない単語は、前後の文脈から意味を推測しながら読んだ。	d 文1つ1つを日本語に訳さず英語の語順通りに内容を理解した。	e 英語の語順（強調）を意識しながら読んだ。	f 本文のキーワードを意識しながら読んだ。
関係する手法	チャンク	ワンウェイ	キーワード	ワンウェイ チャンク	チャンク	ワンウェイ	キーワード	ワンウェイ チャンク	キーワード	キーワード
実施前	27%	29%	28%	44%	64%	76%	76%	40%	11%	74%
実施後	24%	24%	23%	41%	66%	79%	78%	43%	18%	77%
変化	-3%	(-5%)	(-5%)	-3%	2%	(3%)	2%	(3%)	(7%)	(3%)

【英語学習の意識調査より】

グラフ2 今回のトレーニングをすることで、あなたは止まらずに英文を読んだり、意味のまとまり、キーワードを意識して読みましたか。



【生徒の感想】

- ・今までは一語一語に区切って読んでいたけれど、今回の長文をやってみて意味のかたまりで英文を読むことができるようになってきた。
- ・前よりまとまりで考えられるようになった。
- ・大切なキーワードを見つけられるようになった。
- ・わからないところはキーワードを見つけて読む。
- ・わからなくても、止まらないのがいい。
- ・1つ1つの単語が分からなくても、ある程度読解できるようになった。

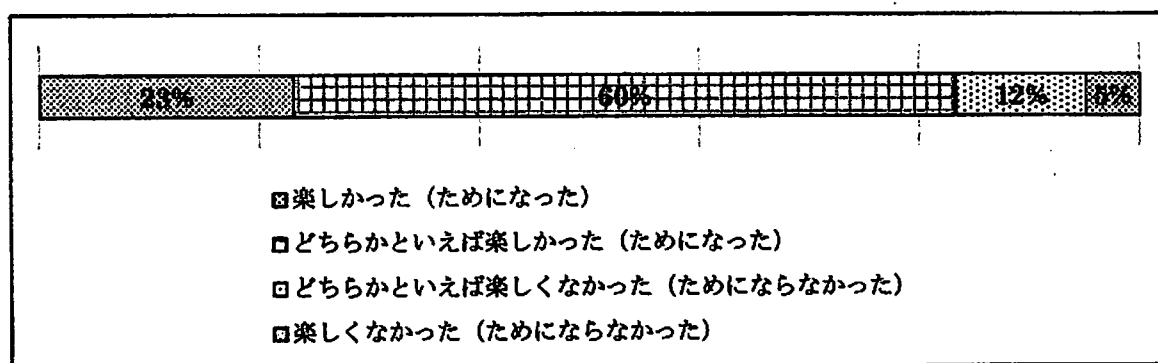
【考察】

上の表は前述の調査で実践の前後に行ったテストの英文を、10種類の読解スキルについて、その読み方をしたかどうかを「はい」「いいえ」で回答させたものである。AからDまでが非効率的な読み方で、aからfまでを「生徒に求めたい読み方」とした。非効率的な読み方に関して、意味のわからない文はわかるまで何度も読み直したと回答した生徒はトレーニング前は29%いたが、トレーニング後は24%と5%減少した。またわからない単語があったら、そこで止まって考えたと回答した生徒は28%いたが、実施後は23%と5%減少した。また「生徒に求めたい読み方」に関しては、文1つ1つを日本語に訳さず、英語の語順で内容を理解したと回答した生徒はトレーニング前は40%で、トレーニング後は43%と3%上昇した。これらの結果から、本トレーニングは「生徒に求めたい読み方」を身につけさせるのに、効果があったと言える。

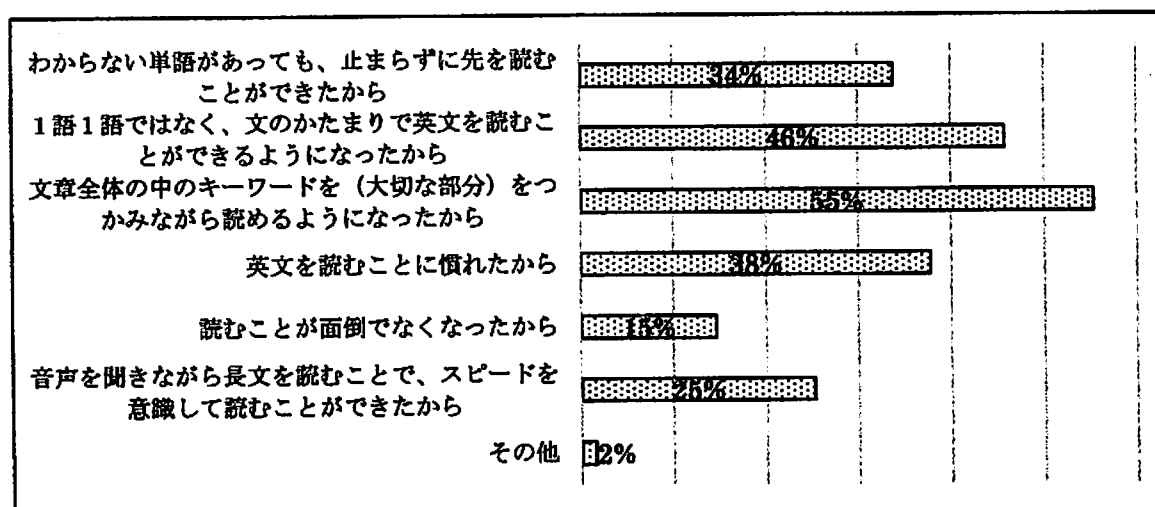
また英語の抑揚（強調）を意識しながら読んだという項目では、7%の上昇が見られた。これは音声を聞かせながら英文を読ませたことが、黙読をする際にも音声を意識しながら読むことに影響したのだと考える。全体としてはまだ19%という数値ではあるが、このトレーニングを継続することで、生徒がネイティブが読むような英文の読み方を身につけていくのだと考える。さらに上のグラフ2からは、生徒が英文を読む時の読み方の意識の変化、向上を見ることができる。トレーニングの中で止まらずに英文を読んだり、意味のまとまりやキーワードを意識して読んだかという質問に対して80%の生徒が意識して読んだと回答した。この点から本トレーニングが「生徒に求めたい読み方」を身につけさせるのに有効な手段になったと考察できる。

【英語学習の意識調査より】

グラフ3 今回受けたトレーニングに対するあなたの気持ちはどれに近いですか。



グラフ4 今回のトレーニングがためになった（そう思う,まあそう思う）と答えた人に聞きます。その理由は何ですか。（複数回答可）



【生徒の感想】

- ・前より読める単語が増えた。
- ・前よりもわからない単語が少なくなって、英文を読めるようになった。
- ・書いてある単語がすぐにわかるようになった。
- ・全体的に読むことができるようになった。
- ・長文を最後まで集中力を切らさずに読めたこと。

【考察】

グラフ3より、80%の生徒が本トレーニングがためになったと回答している。またグラフ4はその理由は何かと尋ねたものである。ためになった理由として最も高かったのが、「キーワードを意識しながら読めるようになった」という項目であった。これは生徒が「生徒に求めたい読み方」で英文を読んでいく時に、「素早く英文の内容を理解するためにはキーワードを拾っていくことが必須である」と生徒自身がトレーニングの中で気が付いたためであると考察した。

さらに配慮を要する生徒で「ためになった」と回答した感想欄の中に「前よりも単語が読めるようになった」というものがあつた。これはステップ1で音声を補助として英文を読ませたことにより、音と文字を結び付けられた結果であると考ええる。

英文読解については、語彙が不足している生徒にとっては、読解力を高めることが困難であることがわかっている。(浦辺 千葉県教育研修会レポート2016)つまり、語彙が不足している生徒にとって英文読解の活動は「運」や「勘」に頼らざるを得ない非常に大きな苦痛を伴うものであつた。しかし今回、ステップ1で音声を聴かせながら読ませることで、文字だけでは音声化できずに意味が分からなかった生徒にとっては、音声ヒントとなり、話を予測しイメージを膨らませて読もうと根気強くとりくむことができるようになった。これから読ませようとしている読みものの教材に対して、事前知識や内容を予め想起する準備の時間を持たせることの重要性を改めて感じる。

(2) 今後の課題

①語彙に関して

今回はステップ1で音声を補助的に活用し、読解に取り組ませた。そのため配慮を要する生徒においても、積極的にトレーニングにとりくむことができた。しかし実際のテストや入学試験では、音声の補助はない。音声の補助がない状態でも英文が読みとれるよう、日頃から語彙指導を根気強く行っていくことが必須である。

②トレーニングの回数の充実

本実践では、生徒に「生徒に求めたい読み方」を身につけさせるために、12回のトレーニングを行った。昨年度よりもとりくみ時間を5分間短くし、通常の授業に支障をきたすことがないように配慮し、また配慮を要する生徒にとっても負担のかからないようにした。しかし「生徒に求めたい読み方」を身につけさせる上では、さらにトレーニング回数の充実が必要である。今後同様のトレーニングを継続していく必要があるだろう。

③リスニング指導への可能性

本研究は、「生徒に求めたい読み方」をネイティブ思考法の読み方とした。ネイティブ思考法の著者のダン上野 Jr 氏はネイティブ思考法を身に付けるために最初に学習するのはリーディングで、その次にリスニングであると述べている。そのことから今後リスニング指導教材への発展につなげていきたいと考えている。

引用文献

研究社 卯城祐司（編）「英語リーディングの科学『読めたつもり』の謎を解く」
あさ出版 ダン上野 Jr. 「ネイティブ思考英語勉強法」

参考文献

浦辺 雄一郎「第 6 6 次千葉県教育研究集会 外国語教育 君津支部レポート」
森川 ちあき 「第 6 5 次千葉県教育研究集会 外国語教育 君津支部レポート」
開隆堂 「Sunshine English Course1」
学校図書 「Total English 1」
千葉県教育委員会 「『ちばのやる気』学習ガイド1, 2」
千葉県教育委員会 「平成 2 9 年度千葉県公立高等学校入学者選抜学力検査の結果」
東京書籍 「New Horizon English Course 3」
内閣府「平成 2 8 年度青少年のインターネット利用環境実態調査の結果」
Christine Nuttall “Teaching Reading Skills in a foreign language”

資料編

英語に関する意識調査(事前) アンケート用紙

3年 組 番・名前

※このアンケートは、みなさんの英語学習についての意見を聞き、より良い授業を考えていくためのものです。成績には一切関係ありませんので、安心して答えてください。

(1) あなたは英語を学習することが好きですか。

A とても好き B まあまあ好き C あまり好きではない D 全く好きではない

(2) あなたは、次の活動はどれくらい得意ですか。あなた自身の中で考えた場合にどうかを答えてください。

A とても得意 B どちらかという得意 C どちらかという苦手 D とても苦手

① 先生の話す英語やCDの英語を聞いて内容を理解すること。 (A・B・C・D)

② 知っている英単語や表現を使って英語で話すこと。 (A・B・C・D)

③ 教科書や英語で書かれた文章を読んで内容を理解すること。 (A・B・C・D)

④ 知っている英単語や表現を使って英語で文章を書くこと。 (A・B・C・D)

(3) あなたは、教科書の本文やテストなどの英語の長文を読むことは好きですか。

A とても好き B まあまあ好き C あまり好きではない D 全く好きではない

(4) (3)で「Cあまり好きではない」「D全く好きではない」と答えた人におたずねします。
なぜ好きではないのですか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

A: わからない単語が多くあるから。

B: わからない文章があると何度もくり返し読んでしまうから。

C: 長文になると意味がわからなくなるから。

D: 長文を読んでいると疲れるから。

E: 読むのに時間がかかるから。

F: 面倒で読む気にならないから。

G その他 ()

(5) あなたはテスト（定期テストや復習確認テスト）や英検の長文問題で最後まで読み切れなかったことはどのくらいありますか。

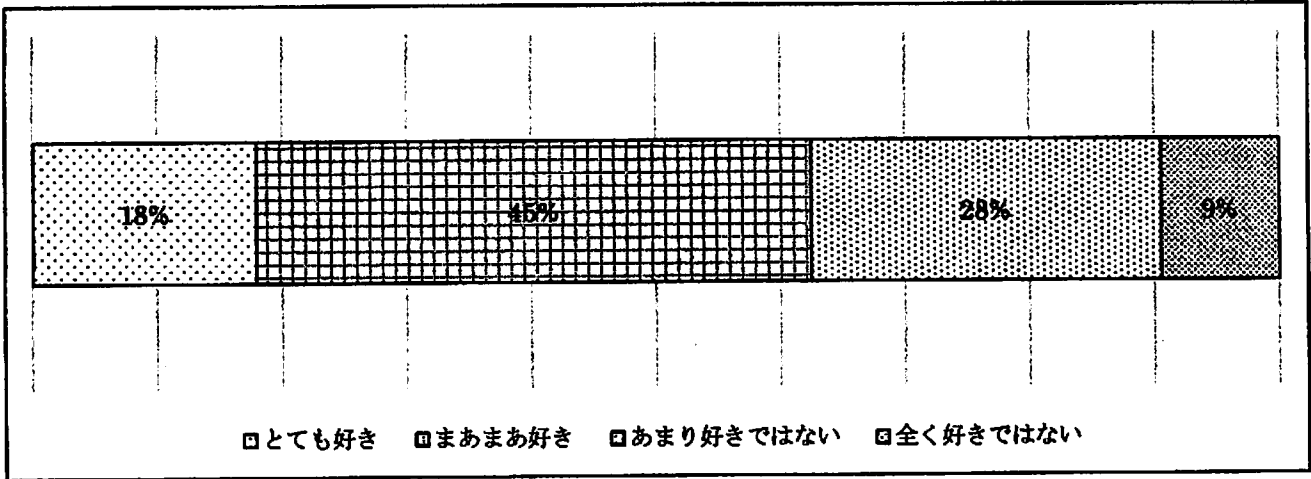
A よくある B 時々ある C たまにある D ほとんどない

(6) あなたは1週間にどれくらい教科書以外の英語の長文を読みますか。

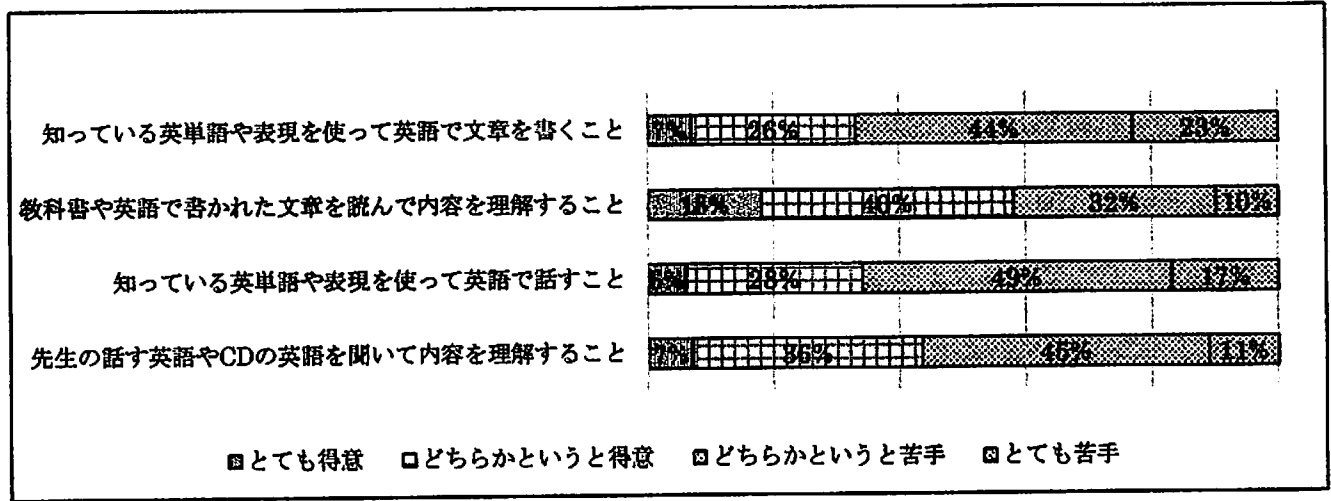
A ほぼ毎日 B 週に4、5回 C 週に2、3回 D 週に1回 E 全く読まない

資料 英語に関する意識調査（事前）集計結果

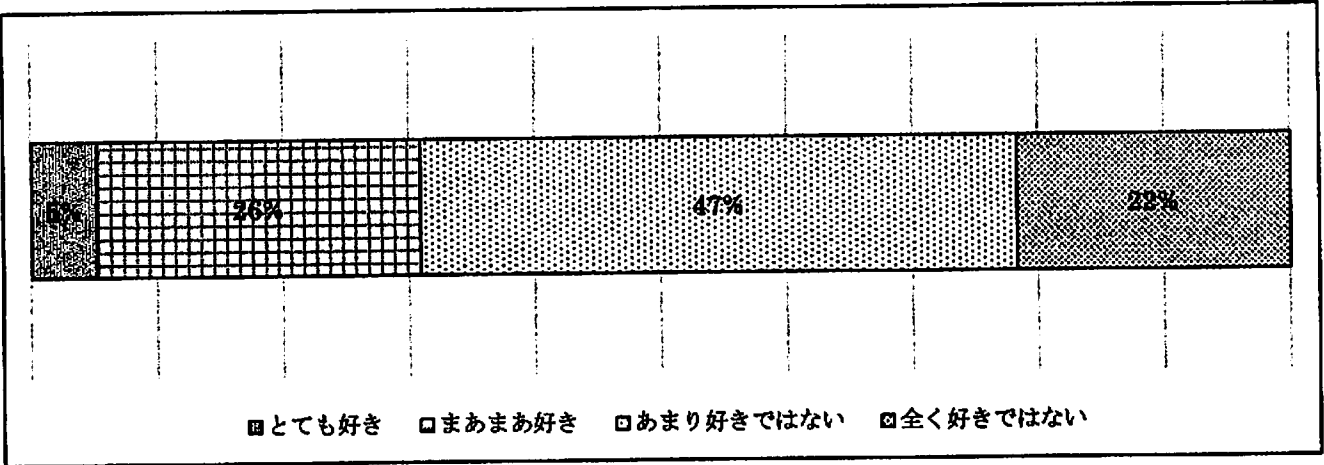
グラフ1 あなたは英語を学習することが好きですか。



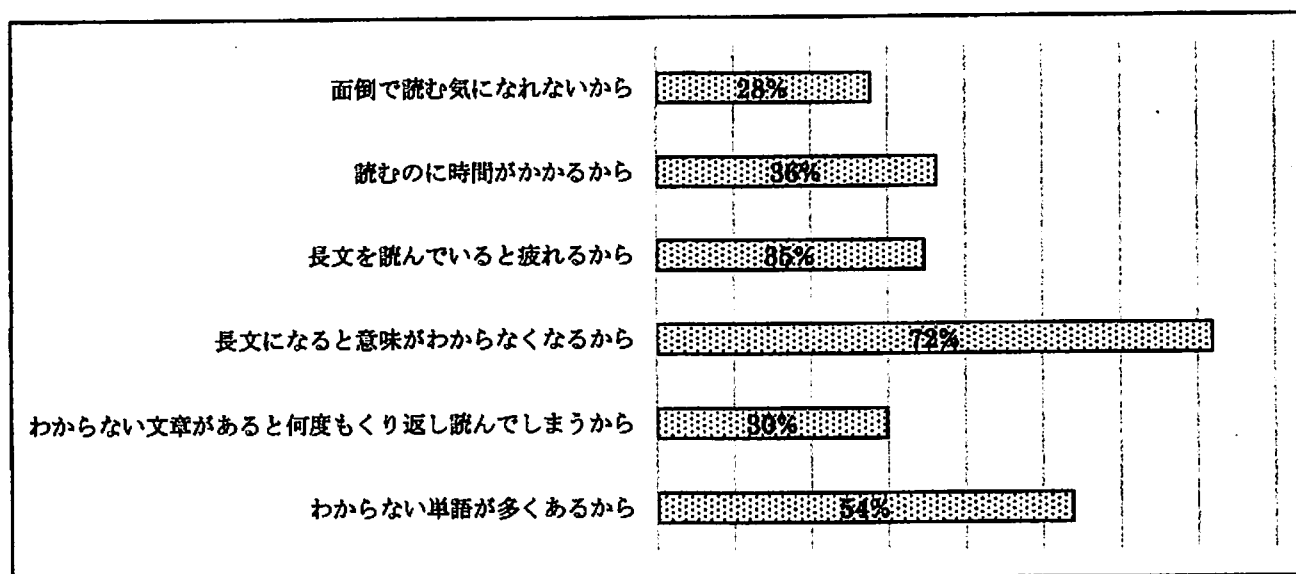
グラフ2 あなたは次の活動はどれくらい得意ですか。



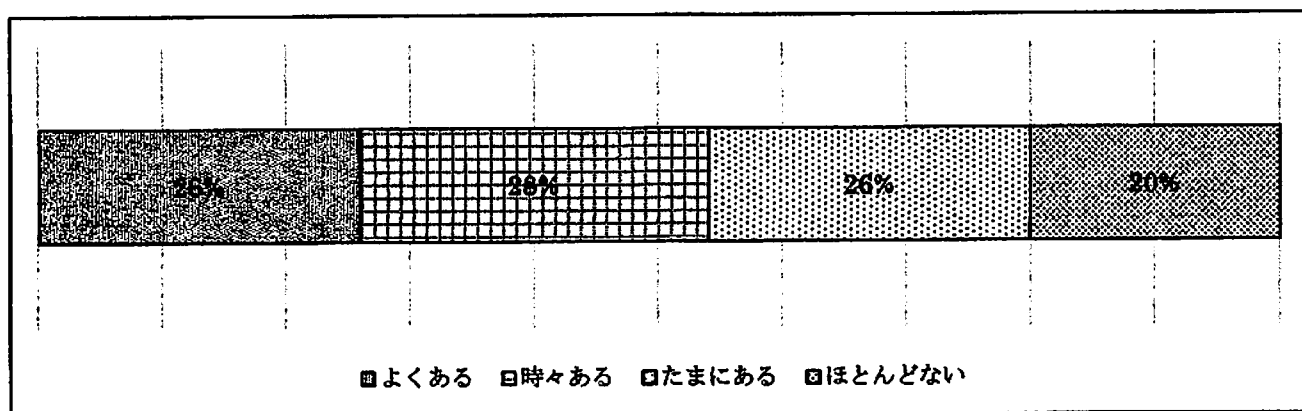
グラフ3 あなたは、教科書の本文やテストなどの英語の長文を読むことは好きですか。



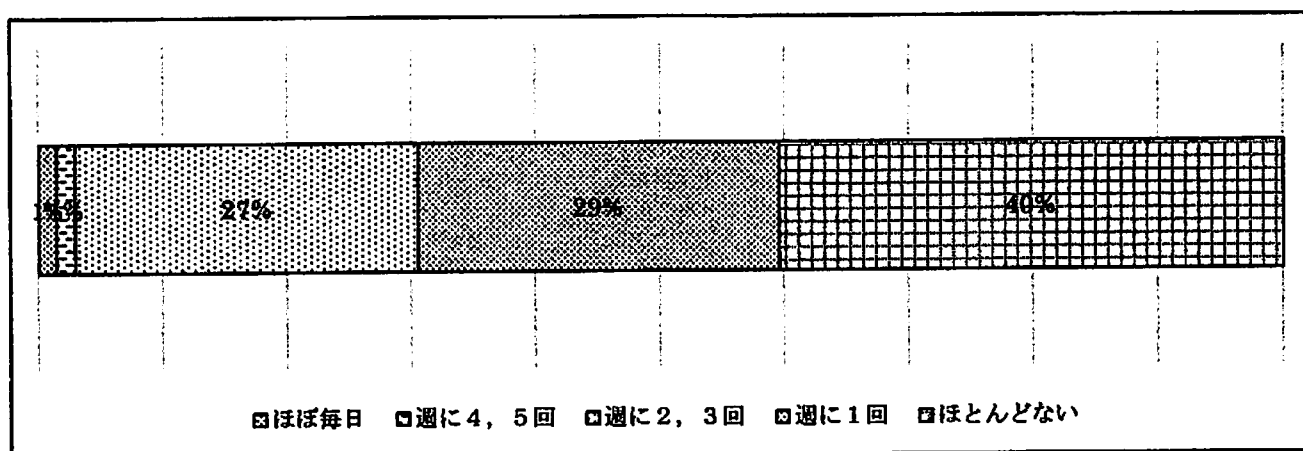
グラフ4 長文を読むのが好きではないと答えた生徒に聞きます。その理由は何ですか。
(複数回答可)



グラフ5 あなたはテスト（定期テストや復習確認テスト）や英検の長文問題で最後まで読み切れなかったことはどのくらいありますか。



グラフ6 あなたは1週間にどれくらい教科書以外の長文を読みますか。



英語に関する意識調査（事後） アンケート用紙②

3年 組 番・名前

※英語の長文を読むトレーニングを受けてみて、今、あなたがどう感じているかを教えてください。
成績には一切関係ありませんので、安心して答えてください。

(1) あなたは英語を学習することが好きですか。

A とても好き B まあまあ好き C あまり好きではない D 全く好きではない

(2) あなたは、次の活動はどれくらい得意ですか。あなた自身の中で考えた場合にどうかを教えてください。

A とても得意 B どちらかという得意 C どちらかという苦手 D とても苦手

①先生の話す英語やCDの英語を聞いて内容を理解すること。(A・B・C・D)

②知っている英単語や表現を使って英語で話すこと。(A・B・C・D)

③教科書や英語で書かれた文章を読んで内容を理解すること。(A・B・C・D)

④知っている英単語や表現を使って英語で文章を書くこと。(A・B・C・D)

(3) あなたは、教科書の本文やテストなどの英語の長文を読むことは好きですか。今の気持ちを教えてください。

A とても好き B まあまあ好き C あまり好きではない D 全く好きではない

(4) 今回受けた読むトレーニングに対するあなたの気持ちは、次のどれに近いですか。

A 楽しかった（ためになった） B どちらかといえば楽しかった（ためになった）
C どちらかといえば楽しくなかった D 楽しくなかった（ためにならなかった）
（ためにならなかった）

(5) 今回のトレーニングをすることで、あなたは英文を止まらずに読んだり、スピードや意味のまとまり、キーワードを意識してよみましたか。

A とても意識した B 少し意識した C あまり意識していない D 意識しなかった

(6) 今回のトレーニングを受けてみて、以前より英語の長文を速く読み、内容を理解することができるようになったと感じますか。

A そう思う B まあそう思う C あまりそう思わない D 全くそう思わない

英語に関する意識調査（事後） アンケート用紙（続き）

（7）（6）で、A（そう思う）またはB（まあそう思う）と答えた人におたずねします。

その理由は何ですか？あてはまるもの全てに○をつけてください。

- A わからない単語があっても、止まらずに先を読むことができたから。
- B 1語1語ではなく、文のかたまりで英文を読むことができるようになったから。
- C 文章全体の中のキーワード（大切な部分）をつかみながら読めるようになったから。
- D 英文を読むことに慣れたから。
- E 読むことが面倒でなくなったから。
- F 音声を聞きながら長文を読むことで、スピードを意識して読むことができたから。
- G その他

（8）（6）で、C（あまりそう思わない）またはD（全くそう思わない）と答えた人におたずねします。その理由は何ですか？あてはまるもの全てに○をつけてください。

- A: わからない単語が多くあるから。
- B: わからない文があると何度もくり返し読んでしまうから。
- C: 長文になると意味がわからなくなるから。
- D: 読むのに時間がかかるから。
- E: 面倒で読む気にならないから。
- F: 自分一人では、放送されたスピードでは読むことができないから。
- G: 長文を読んでいると疲れるから。
- H その他

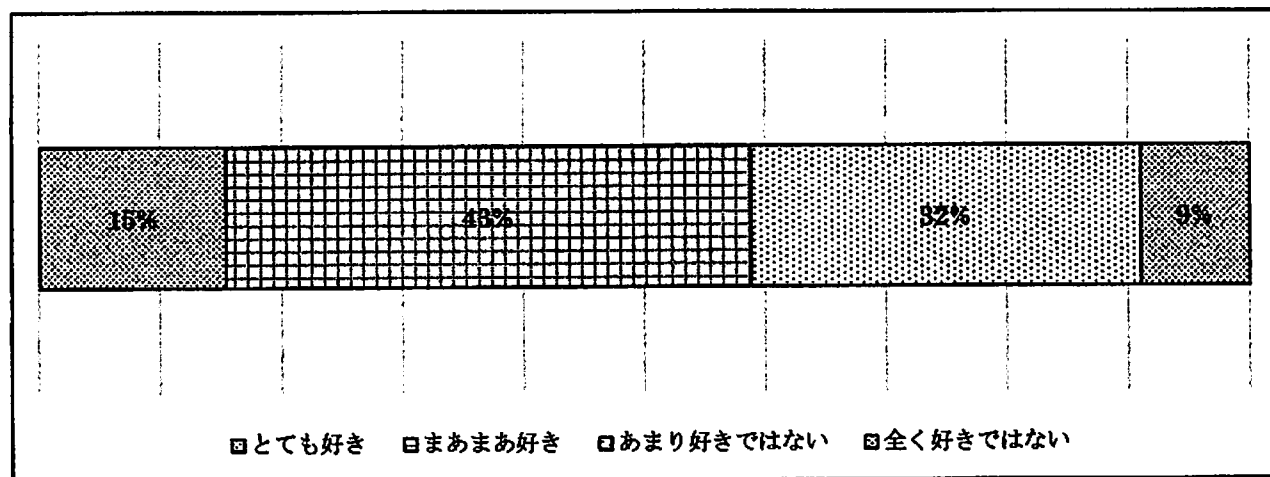
（9）今回のトレーニングを通してみてわかったこと、気づいたことは何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- A 英語の意味のまとまりを意識して読むこと。
- B わからない単語や文などがあっても読み返しをしないこと。
- C 本文のキーワード（大切な部分）を見つけながら読むこと。
- D 長文を読むときの、適切なスピード
- F その他

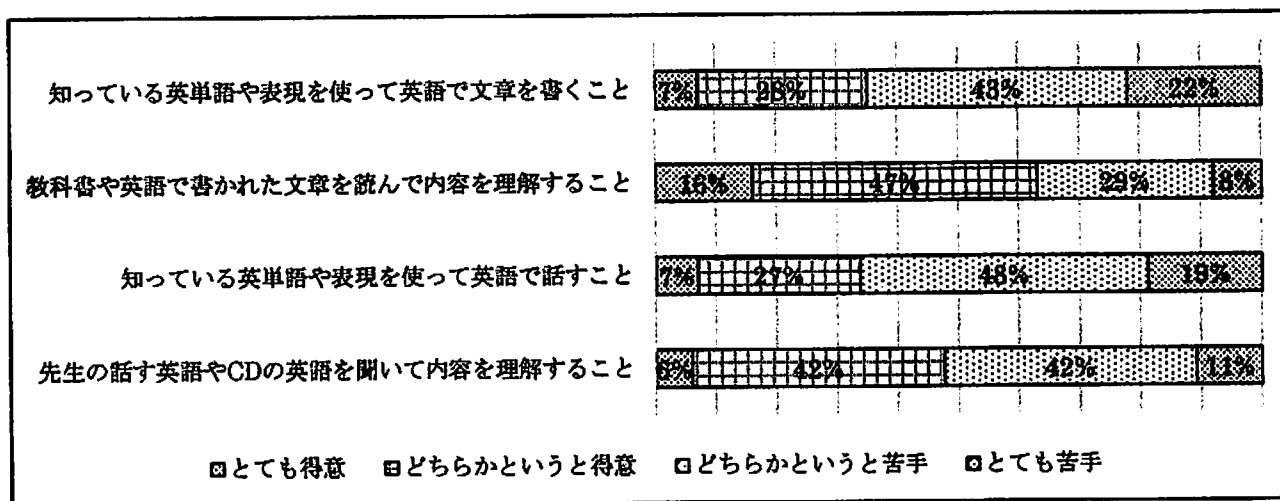
その他に、英語の長文の読解に関して、できるようになったと感じることを教えてください。

資料 英語に関する意識調査（事後）集計結果

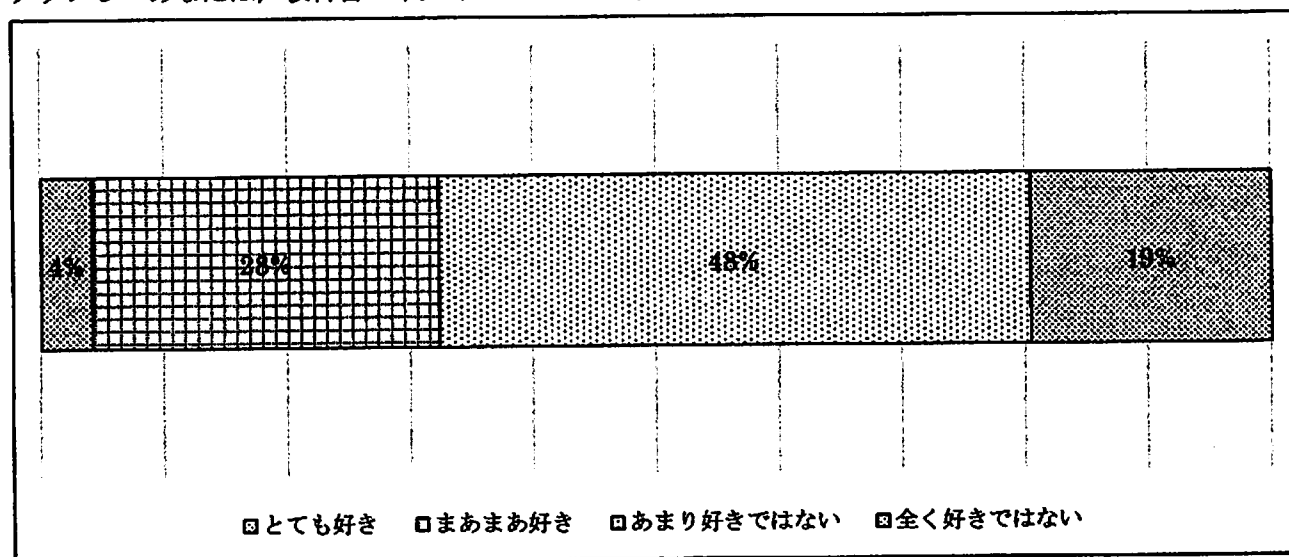
グラフ7 あなたは英語を学習することが好きですか。



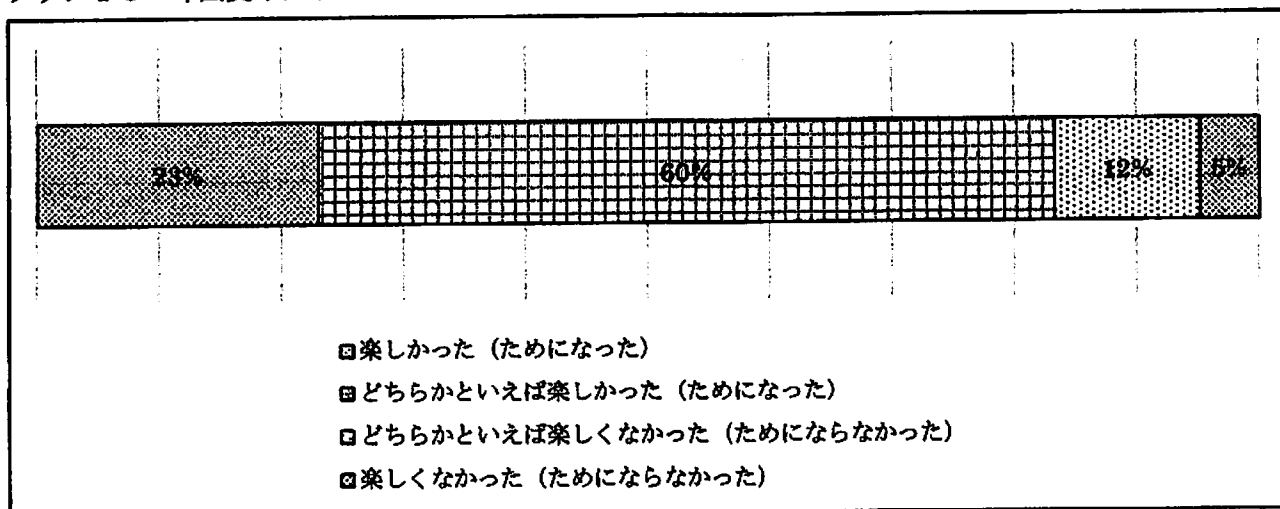
グラフ8 あなたは次の活動はどれくらい得意ですか。



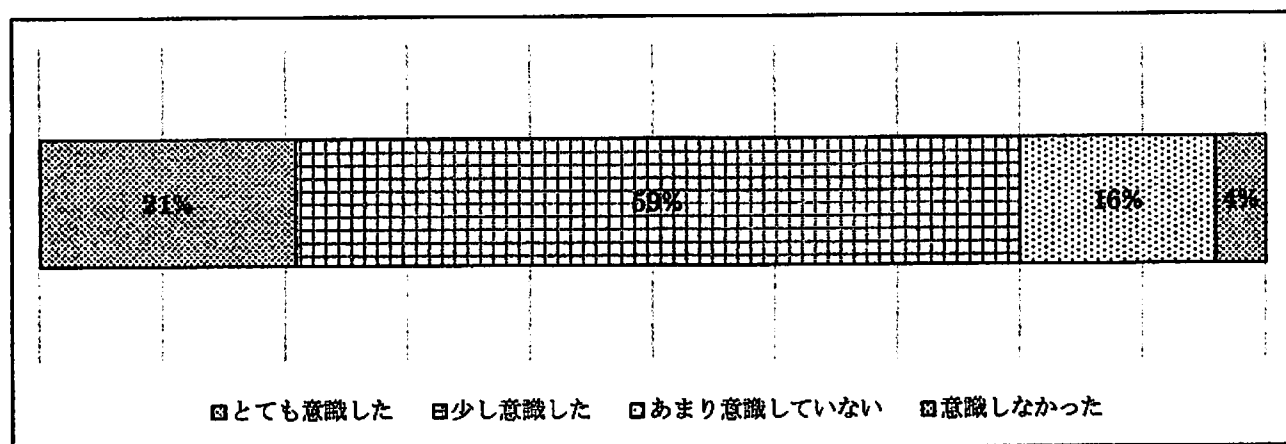
グラフ9 あなたは、教科書の本文やテストなどの英語の長文を読むことは好きですか。



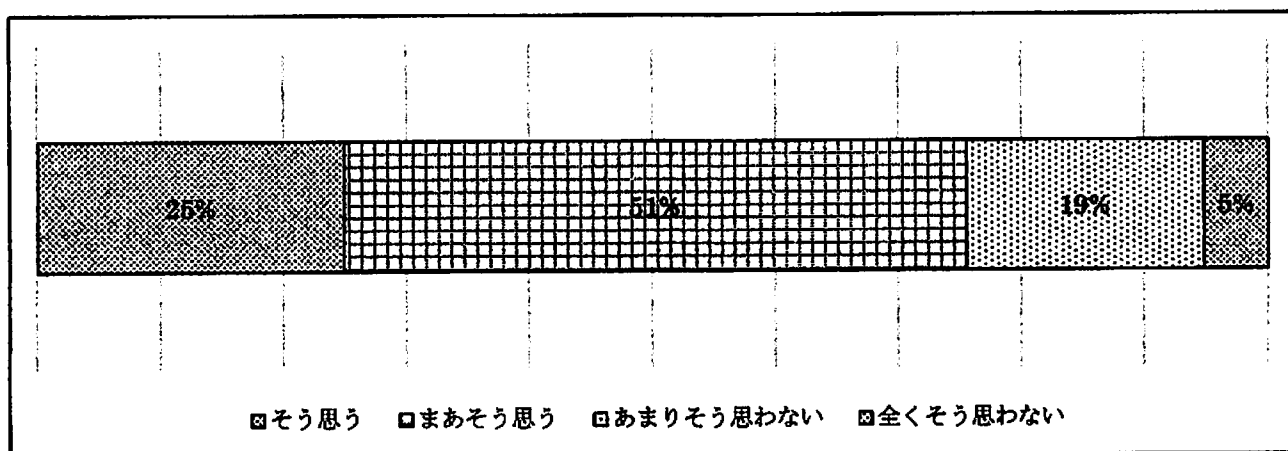
グラフ10 今回受けたトレーニングに対するあなたの気持ちはどれに近いですか。



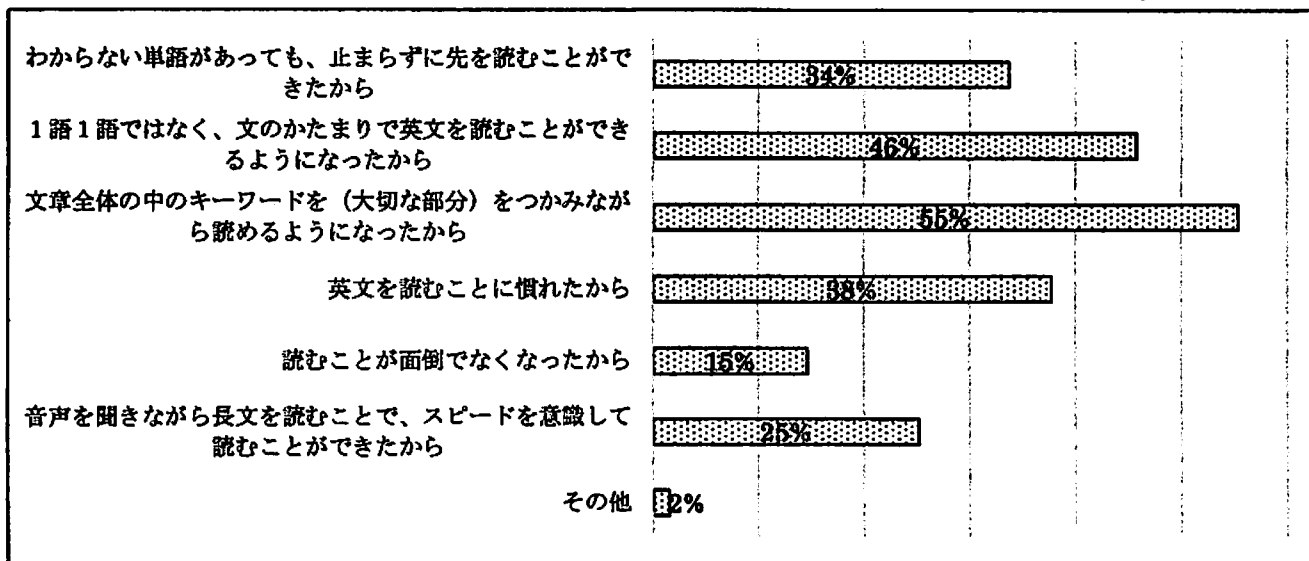
グラフ11 今回のトレーニングをすることで、あなたは止まらずに英文を読んだり、意味のまとめ、キーワードを意識して読みましたか。



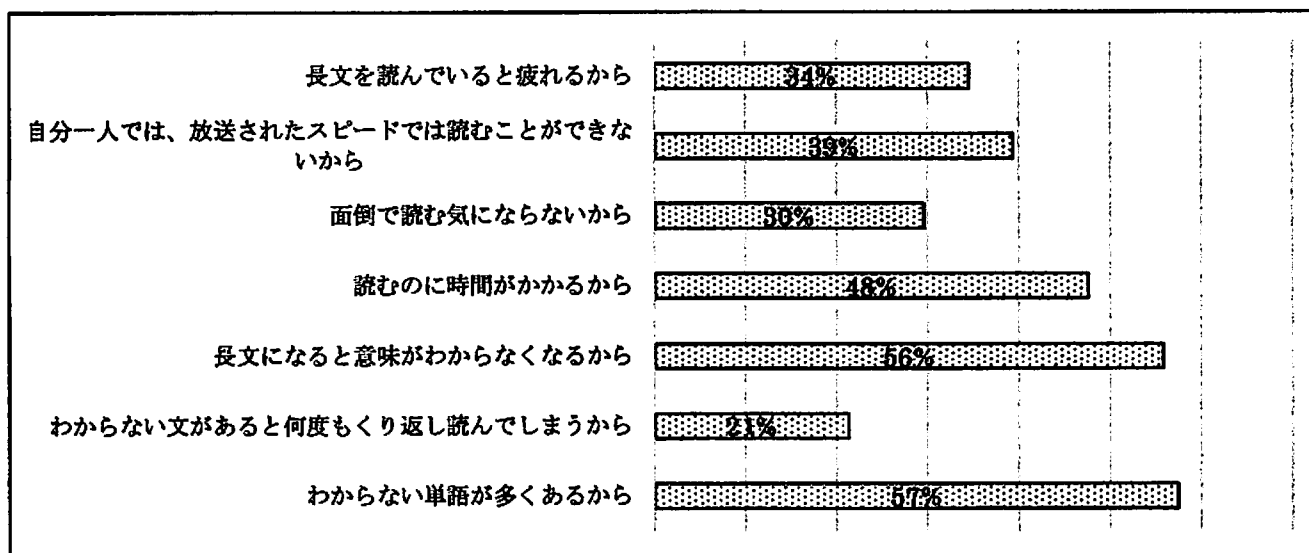
グラフ12 今回のトレーニングを受けてみて、以前より英語の長文を速く読み、内容を理解できるようになったと感じますか。



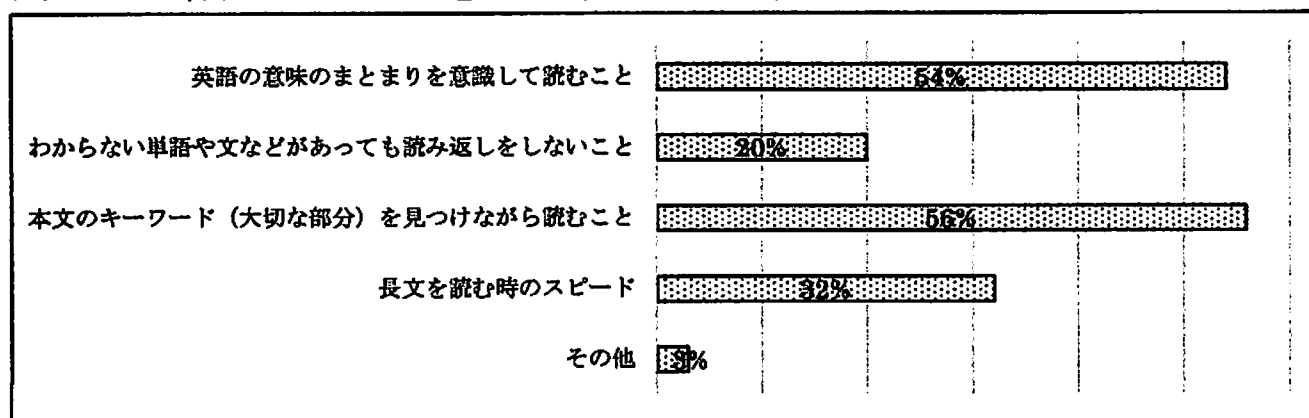
グラフ 13 今回のトレーニングがためになったと答えた人に聞きます。その理由は何ですか。(複数回答可)



グラフ 14 今回のトレーニングがためにならなかったと答えた人に聞きます。その理由は何ですか。



グラフ 15 今回のトレーニングを通してみて、わかったこと、気づいたことは何ですか。



資料 読解スキル調査項目と結果

今読んだ英文を、あなたはどのように読みましたか。次にあげる方法で読んだ場合は「はい」、読まなかった場合は「いいえ」に○をつけてください。

- ① 単語1つ1つを日本語に訳しながら読んだ。 [はい ・ いいえ]
- ② 意味のわからない文は、わかるまで何度も読み直した。 [はい ・ いいえ]
- ③ わからない単語があったら、そこで止まって考えた。 [はい ・ いいえ]
- ④ 文1つ1つを日本語に訳しながら読んだ。 [はい ・ いいえ]
- ⑤ 単語ではなく、意味のまとまりごとに区切りながら読んだ。 [はい ・ いいえ]
- ⑥ わからない語や文があっても、全体の内容を理解しようとしながら読んだ。 [はい・いいえ]
- ⑦ 意味のわからない単語は、前後の文脈から意味を推測しながら読んだ。 [はい ・ いいえ]
- ⑧ 文1つ1つを日本語に訳さず英語の語順通りに内容を理解した。 [はい ・ いいえ]
- ⑨ 英語の抑揚（強調）を意識しながら読んだ。 [はい ・ いいえ]
- ⑩ 本文のキーワード（重要な部分）を意識しながら読んだ。 [はい ・ いいえ]

読解スキル調査の各項目で、「はい」と回答した生徒の割合

非効率的な読み方				生徒に求めたい読み方					
A 単語1つ1つを日本語に訳しながら読んだ。	B 意味のわからない文は、わかるまで何度も読み直した。	C わからない単語があったら、そこで止まって考えた。	D 文1つ1つを日本語に訳しながら読んだ。	E 単語ではなく、意味のまとまりごとに区切りながら読んだ。	F わからない語や文があっても、全体の内容を理解しようとしながら読んだ。	G 意味のわからない単語は、前後の文脈から意味を推測しながら読んだ。	H 文1つ1つを日本語に訳さず英語の語順通りに内容を理解した。	I 英語の抑揚（強調）を意識しながら読んだ。	J 本文のキーワードを意識しながら読んだ。
チャンク	ワンウェイ	キーワード	ワンウェイチャンク	チャンク	ワンウェイ	キーワード	ワンウェイチャンク	キーワード	キーワード
27%	29%	28%	44%	64%	76%	76%	40%	11%	74%
24%	24%	23%	41%	66%	79%	78%	43%	18%	77%
-3%	-5%	-5%	-3%	2%	3%	2%	3%	7%	3%

英語学習に関するアンケート A (事前)

3年 組 番・氏名

次の英文を読んで、以下の質問に答えてください。

Mei is a junior high school student in Japan. Last summer, she went to London on a homestay. She stayed with a host family for three weeks. They had a 13-year-old daughter, and her name was Shelly.

One morning, Mei walked to a farmer's market with Shelly. It took 30 minutes. They got there at 8:50. The market opened at nine o'clock, and there were 20 shops there.

Shelly bought some bread and vegetables for her mother. Mei wanted to buy some juice, but the man at the shop spoke very fast. She couldn't understand him.

Mei said, "Excuse me. Could you speak slowly?" "OK. Where are you from?" he asked.

"I'm from Japan," Mei said. She bought some juice, and then she went to a flower shop. She got some flowers for her host mother. Mei enjoyed shopping at the market because she met some nice people. Mei and Shelly took the bus home. They had a great day.

問1. 本文の内容に合うように、以下の①～⑤の()に適する語をア、イから記号で選び、解答欄の1回目に記入してください。

① 去年の夏、メイはロンドンに()で行った。
ア: ホームステイ イ: 旅行

② ロンドンで、メイは13歳の()に出会った。
ア: 男の子 イ: 女の子

③ メイは、()まで歩いて行った。
ア: 魚市場 イ: 農家直営の市場

④ お店の人が()ので、最初メイは言っていることがわからなかった。
ア: 速く話をした イ: 難しい言葉を使った

⑤ メイは()ので、一日が楽しかった。
ア: たくさん買い物できた イ: いい人にたくさん会えた

/5

解き終わった時間 分 秒

英語学習に関するアンケート B (事後)

3年 組 番・氏名

次の英文を読んで、以下の質問に答えてください。

Every summer, Saya and her old brother, Tsuyoshi, visit their grandmother in Hokkaido. Their grandmother lives on a farm, and she has four horses. Saya loves the black one. Her name is Molly. Every morning, Saya gives Molly some carrots or an apple.

Their grandmother always rides the gray horse. His name is Clover. Tsuyoshi always rides Bill. Bill is brown and can run fast. Their grandmother also has a white horse. His name is Boxer, and he is the oldest horse.

This summer, their grandmother said, "Saya, last year you were too young, but you became 13 in June. Now, you are ready to ride a horse."

The first morning, riding Molly was not easy for Saya. Tsuyoshi helped her. After lunch, Saya rode Molly again. She didn't need any help, so she was very happy. After that, Saya rode Molly a lot, and they became good friends.

問1. 本文の内容に合うように、以下の①～⑤の()に適する語をア、イから記号で選び、解答欄の1回目に記入してください。

①毎年の夏、サヤは兄と一緒に北海道の()を訪れている。

ア：祖父 イ：祖母

②サヤは馬の()にニンジンやリンゴをあげている。

ア：モリー イ：ビル

③サヤは現在()歳である。

ア：12 イ：13

④今年は、サヤが馬に乗るのを()が助けた。

ア：兄 イ：弟

⑤サヤは()馬に乗ることができて嬉しかった。

ア：一人で イ：友達と

/5

解き終わった時間 分 秒

1-① 途中で止まったり、読み飛ばししない

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

I'm a junior high school student in Thailand. Our summer vacation starts at the end of the March. It's about two months long. In Thailand, it's very hot in April and May. The temperature is sometimes over 40 degrees. So we need to have a long vacation.

We have our New Year's Festival on April 13, 14 and 15. We call it Songkran. During this festival, people throw water at each other.

This new year, I also went out and threw water at people in the street. Many people threw water at me, too. We didn't know each other, but it was OK. It was hot outside.

The cool water felt good. I like this festival very much.

(117 words)

temperature 気温 degrees～度 Songkran ソンクラーン (タイの旧正月) felt 感じた

何についての話でしたか。時間は30秒間です。

【ステップ2】ワンウェイリーディング

途中で止まったり、読み飛ばしをせずに本文をもう一度読み、本文の内容に合うように、

以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。時間は2分間です。

①タイの夏休みは()に始まる。

ア: 3月 イ: 4月

②タイの夏休みは()ある。

ア: 2ヶ月間 イ: 40日間

③旧正月は()に当たる。

ア: 1月 イ: 4月

④旧正月のお祭りでは、互いに()をかけあう。

ア: 水 イ: お湯

⑤私は旧正月のお祭りが()です。

ア: 好き イ: 苦手

/5

1-② 途中で止まったり、読み飛ばししない

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

Mexico has a problem. About 70% of the adults and about 30% of the children are too heavy. The government health department says that this is the country's biggest health problem. Now Mexico City is trying to do something about it. If someone does 10 squats, they can get a free subway ticket.

The government wants to help people start exercising and losing weight. They have put special machines at many subway stations. If riders do 10 squats, the machines will tell them how many calories they have used. Then it will print a free subway ticket for them.

(100 words)

The government health department 厚生労働省 health 健康 squat スクワット
government 政府 machines 機械 subway 地下鉄 print 印刷する

何についての話でしたか。時間は30秒間です。

【ステップ2】ワンウェイリーディング

途中で止まったり、読み飛ばしをせずに本文をもう一度読み、本文の内容に合うように、

以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。時間は2分間です。

①メキシコの成人の()が健康問題を抱えている。

ア: 70% イ: 30%

②メキシコでは()が問題である。

ア: 喫煙 イ: 肥満

③メキシコ市では10回スクワットをすると地下鉄の切符が()配布される。

ア: 無料 イ: 割引して。

④政府は人々に運動をして()もらいたい。

ア: 体力をつけて イ: 体重を落として

⑤地下鉄の機械はスクワット後、()を教えてくれる。

ア: 消費カロリー イ: 運動時間

/5

1-③ 途中で止まったり、読み返しをしない

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

It is square. It is a Japanese traditional cloth. You can wrap things with it.

You can carry things in it, too. What is it? It is a furoshiki.

A furoshiki is useful for shopping. You can use it as a shopping bag. You can use it many times, so you don't need new plastic bags. Also, you can fold it into a small square and carry it everywhere.

You can use a furoshiki in many ways. You can wrap many kinds of things with a furoshiki, even watermelons or bottles. A big one can be a mat or a cushion cover. A small one can be a scarf or a handkerchief. A furoshiki is an all-purpose cloth. (118 words)

square 四角 traditional 伝統的な cloth 布 wrap 包む things 物 plastic bags ビニール袋 fold 折る everywhere どこへでも bottles ビン cushion クッション scarf カーフ handkerchief ハンカチ

何についての話でしたか。時間は30秒間です。

【ステップ2】ワンウェイリーディング

途中で止まったり、読み返しをせずに本文をもう一度読み、本文の内容に合うように、

以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。時間は2分間です。

①ふろしきは()として使うことができる。

ア: 買い物袋 イ: タオル

②ふろしきがあれば新しい()が必要なくなる。

ア: 買い物かご イ: ビニール袋

③ふろしきを()どこへでも運ぶことができる。

ア: カバンにいれると イ: 折りたたむと

④大きいふろしきは()になることができる。

ア: クッションカバー イ: スカーフ

⑤ふろしきは()布である。

ア: 色々な目的に合わせて使える イ: 多くの人が持っている

/5

1-④ 途中で止まったり、読み返しをしない

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

A lot of Japanese people study abroad to learn English. Studying abroad is a good way to improve your English because you can practice English every day. But even in foreign countries, if you use Japanese a lot, your English will not get better. Learning English is just like learning how to swim. If you want to be able to swim, you should go into the water and try to swim. So if you want to improve your English, you should try to use English.

(83 words)

improve 上達させる foreign 外国の

何についての話でしたか。時間は30秒間です。

【ステップ2】ワンウェイリーディング

途中で止まったり、読み返しをせずに本文をもう一度読み、本文の内容に合うように、

以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。時間は2分間です。

①多くの日本人が()で英語を勉強します。

ア: 学校 イ: 外国

②外国では()ので英語が上達する。

ア: 毎日練習できる イ: いつでも質問できる

③外国にいても()と英語は上達しない。

ア: 多く日本語を使う イ: 人に頼っている

④英語の勉強は()の練習に似ている。

ア: 水泳 イ: マラソン

⑤英語を上達させるためには、()が大切である。

ア: 使うこと イ: 知識を得ること

/5

2-① 単語1つ1つを訳さず、意味のまとまりを意図して読む。

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

Last Saturday I saw two high school students when I was going to my friend's house by train. They ran into the train at Sakura Station and sat near me. Soon they started to talk on their mobile phones in a big voice. I didn't like that.

A lot of people in the train didn't look happy, either. I wanted to say to the students, "You shouldn't talk on your mobile phone in a train," but I couldn't. Then a young woman told them to stop using the mobile phones instead of us. I regretted my behavior. (97words)

run into～にかけ込む mobile phone 携帯電話 not ~ either～もまたない regretted 後悔した behavior 行為、行動

何についての話でしたか。時間は30秒間です。

【ステップ2】チャンクリーディング

単語1つ1つを訳さず、意味のまとまりを意識して本文をもう一度読み内容に会うように、

以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。
時間は2分間です。

- ①電車の中で二人の()を見かけた。
ア：中学生 イ：高校生
- ②学生はサクラ駅で()。
ア：電車に乗った イ：電車から降りた。
- ③学生は車内で()を始めた。
ア：電話 イ：メール
- ④私は車内でのマナーについて学生に()。
ア：注意した イ：注意しなかった
- ⑤若い女性が学生に()。
ア：注意した イ：注意しなかった

/5

2-② 単語1つ1つを訳さず、意味のまとまりを意識して読む。

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

One Saturday morning, Tomoko went to buy a watch. At a shop, she found a nice one and bought it. She took a train to go home, but she left the watch on the train. When she was walking home from the station, she noticed that she didn't have the watch. At home, Tomoko asked her father what to do. He told her to go to the station and get some information about her watch. So she went back. A station attendant called some stations and found that her watch was kept at one of them. The next day, she got her watch back.

(104words)

noticed 気づいた information 情報 station attendant 駅員

何についての話でしたか。時間は30秒間です。

【ステップ2】チャンクリーディング

単語1つ1つを訳さず、意味のまとまりを意識して本文をもう一度読み内容に会うように、

以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。
時間は2分間です。

- ①トモコは時計を()に置き忘れてしまった。
ア：バス イ：電車
- ②トモコは()時計がないことに気づいた。
ア：乗り物の中で イ：歩いている時に
- ③トモコの父は、()とよいとアドバイスした。
ア：駅に電話する イ：駅に行く
- ④駅員は時計を探すために()くれた。
ア：いくつかの駅に連絡して イ：駅内を探して
- ⑤最終的にトモコの時計は、()。
ア：返ってきた イ：返ってこなかった。

/5

2-③ 単語1つ1つを訳さず、意味のまとまりを意識して読む。

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

Why did the number of Japanese cranes become so small? One of the reasons is this: Before the Meiji period, they were in Hokkaido from spring to autumn, but in winter they moved to Honshu because it was warmer and there was more food. In the Meiji period, they lost their homes in Honshu because of land development and they had to stay in Hokkaido in winter, so they couldn't easily find food in the snow. They had almost nothing to eat, and they didn't eat the food from the people, so many of them lost their lives. (98words)

reason(s): 理由 period: 時代 moved 移動した
because of land development: 土地開発のため lost: 失った lives 命

何についての話でしたか。時間は30秒間です。

【ステップ2】チャンクリーディング

単語1つ1つを訳さず、意味のまとまりを意識して本文をもう一度読み内容に会うように、

以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。
時間は2分間です。

① タンチョウの数は()。

ア: 増えた イ: 減った

② 明治以前、タンチョウは春から秋にかけて()にいた。

ア: 北海道 イ: 本州

③ 冬、タンチョウは()に移動した。

ア: 北海道 イ: 本州

④ 明治時代、本州では土地開発のため()を失った。

ア: 水辺 イ: すみか

⑤ 冬、北海道では()を失った。

ア: 食べ物 イ: すみか

/5

2-④ 単語1つ1つを訳さず、意味のまとまりを意識して読む。

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

Our city library opens at 8:00 in the morning and closes at 7:00 in the evening. There are many books in the library. We can keep two books at home for one week. The library has two rooms, and we can use both of them. In the larger room, there are many different books. For example, we can find books about other countries. In the smaller room, we can find three computers. When we want to look for some books, we can use them. (84words)

何についての話でしたか。時間は30秒間です。

【ステップ2】チャンクリーディング

単語1つ1つを訳さず、意味のまとまりを意識して本文をもう一度読み内容に会うように、

以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。
時間は2分間です。

①図書館は()時に開きます。

ア: 7時 イ: 8時

②図書館は()時に閉まります。

ア: 7時 イ: 8時

③()冊まで本を借りることができます。

ア: 2冊 イ: 3冊

④図書館の大きな部屋には()があります。

ア: たくさんの本 イ: コンピューター

⑤図書館の小さな部屋には()があります。

ア: たくさんの本 イ: コンピューター

/5

3-① キーワードを意識して読む

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

The National Air and Space Museum in Washington, D.C. is very popular. Six million people visit the museum every year. Mike visited the museum and saw Apollo11 there. Humans stood and walked on the moon in 1969. They went there in Apollo11. Mike saw and touched the museum's moon rock too. Mike also saw the Wright brother's 1903 Flyer at the museum. The plane had an engine. The brothers flew that plane in 1903. People went to the moon only sixty-six years after that. Isn't it amazing?

(89words)

million 百万の museum 博物館 humans 人間 moon 月 touch 触る
rock 岩 Wright brother's ライト兄弟 engine エンジン amazing 驚かせるような
何についての話でしたか。時間は30秒間です。

【ステップ2】キーワードリーディング

キーワード(5W1Hや固有名詞、数字)を意識して、

本文をもう一度読み、本文の内容に合うように、以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。

時間は2分間です。

①毎年、航空宇宙博物館には()が訪れている。

ア: 700万人 イ: 600万人

②()に初めて人類が月面を歩いた。

ア: 1903年 イ: 1969年

③マイクは()に触れることができた。

ア: アポロ11号 イ: 月の岩

④ライト兄弟は(), 飛行に成功した。

ア: 1903年 イ: 1969年

⑤初飛行から月面着陸までにかかった期間が()驚いた。

ア: たった60年で イ: 60年もかかって

/5

3-② キーワードを意識して読む

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

When I was a junior high school student, I had a work experience. I worked at a restaurant for five days. When I left home on the first day, I said to my mother, "I want to be a cook, so working there will be fun." At the restaurant, I had to clean tables and windows and wash cups and dishes. I got very tired. On the second day, a cook said to me, "Thank you, Akio. The customers want to enjoy their meals in a clean and beautiful place. Your jobs are very important. I was happy to hear that."

(101words)

dish(es) 皿 customer(s) 客 meal(s) 食事

何についての話でしたか。時間は30秒間です。

【ステップ2】キーワードリーディング

キーワード(5W1Hや固有名詞、数字)を意識して、

本文をもう一度読み、本文の内容に合うように、以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。

時間は2分間です。

①職場体験学習では、()で働いた。

ア: レストラン イ: 母親のお店

②アキオは将来()になりたい。

ア: 清掃員 イ: 料理人

③アキオの仕事は、()ことだった。

ア: 料理を作る イ: 掃除をする

④お客さんは、()で食事を楽しみたがっている。

ア: きれいなお店 イ: 人気があるお店

⑤アキオは、自分の()が認められて嬉しかった。

ア: 料理 イ: 仕事

/5

3-③ キーワードを意識して読む

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

Turtles usually live for many, many years. But the number of turtles is falling.

Every year, many people take turtle eggs. Some people eat the eggs. Other people buy and sell turtles for food.

Sometimes turtles also eat trash and die. Balloons and plastic bags fall into the sea, and their color comes off in the seawater. Turtles mistake the balloons and bags for jellyfish. Turtles love jellyfish, so they eat the trash!

Every year, hundreds of turtles die from plastic bags and balloons.

Can you believe it? It's true. Help the world's turtles. Don't throw away plastic bags. And please hold on to your balloons. (108 words)

trash ゴミ plastic ビニール seawater 海水 mistake 間違える jellyfish クラゲ

何についての話でしたか。時間は30秒間です。

ステップ2] キーワードリーディング

キーワード(5W1Hや固有名詞、数字)を意識して、

本文をもう一度読み、本文の内容に合うように、以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。

時間は2分間です。

- ① ウミガメの数は年々()。
ア: 増えている イ: 減っている
- ② 中にはウミガメを()に売り買いする人がいる。
ア: 食用 イ: ペット用
- ③ 時々、ウミガメは()を食べて死んでしまう。
ア: クラゲ イ: ゴミ
- ④ ウミガメは、間違えて()を食べてしまう。
ア: クラゲ イ: ビニール袋
- ⑤ ウミガメを救うために()はいけなない。
ア: ゴミを捨てて イ: 売り買いして

/5

3-④ キーワードを意識して読む

3年 組 番・氏名

【ステップ1】放送されるスピードと同じスピードで本文を読んでいきましょう。

Ted's family went to live in another town last year.

At first, Ted was sad because he was going to change schools. When he told his friends about that, they were very surprised. One of his friends, Meg, said, to him, "we'll miss you very much, but I think you are lucky. You're going to meet new friends and teachers. Don't worry. You'll do well in your new school." Ted was encouraged by her words, and he began to have new hopes after that. (83 words)

miss~がいけないのを寂しく思う lucky 幸運な surprised 驚いた
was encouraged by~~に励まされた
何についての話でしたか。時間は30秒間です。

ステップ2] キーワードリーディング

キーワード(5W1Hや固有名詞、数字)を意識して、

本文をもう一度読み、本文の内容に合うように、以下の①～⑤の()に適する言葉をア、イから記号で選び()に記入しなさい。

時間は2分間です。

- ① テッドは()転校しました。
ア: 今年 イ: 昨年
- ② 最初、転校についてテッドは()いた。
ア: ワクワクして イ: 悲しんで
- ③ テッドの友達、テッドの気持ちを聞いて()。
ア: 驚いた イ: 嬉しかった
- ④ メグはテッドが()から、幸運だと言った。
ア: 新しい人に会える イ: 新しい環境で生活できる
- ⑤ テッドはメグの言葉から()ようになった。
ア: 希望を持てる イ: 心配が増える

/5